

Chapter2

シーコンパス

シーサーチ

C-compass・C-searchと テーマ別プロジェクト

C-compassとは、「コンピテンシー自己評価システム」の略で、大学生活でのPDCAサイクル(Plan-Do-Check-Action)を支援する、中央大学オリジナルのシステムです。またテーマ別プロジェクトは、コンピテンシーを高めるための取組みとして、大学が、授業科目・課外行事をグループ化したもので、コンピテンシーと結びつけた取組みです。

大学生活で身につけた習慣は、社会に羽ばたく皆さんにとって、大きな財産となります。是非、C-compassを活用し、プロジェクトにも積極的に参加してみましょう。

Chapter2

シーコンパス C-compass • シーサーチ C-searchとテーマ別プロジェクト

C-compassの全体像

C-compassは、コンピテンシー向上を支えるシステム



C-compassとは

C-compassは、学生の皆さんのが、主体的にコンピテンシー向上していくために、定期的に自身のコンピテンシーを確認し、学内外での様々な活動に目的をもって積極的に参画できるように支援するためのシステムです。このシステムを用いて、コンピテンシーレベルの自己評価を定期的（半年ごと）に行い、また大学生活における活動の計画や実績も合わせて入力することで、
PDCA（Plan（計画）→Do（実行）
→Check（評価）→Action（改善））
サイクルを進めることができ、また常にレビューを行うことも可能となります。



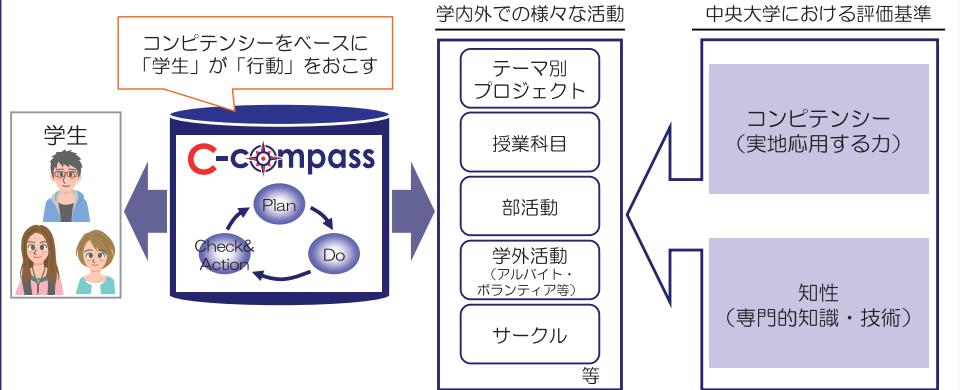
C-compassの活用目的

C-compassは、

- ① 学生の皆さんのが、主体的にコンピテンシーの自己確認を行い（半年ごと）、
- ② 社会で活躍できるレベルにコンピテンシーを伸長すべく、
- ③ 学内外での様々な活動に目的をもって積極的に参画する。

ためのツールとして活用することができます。

C-compassの位置づけ



Chapter2

シーコンパス C-compass • シーサーチ C-searchとテーマ別プロジェクト

C-compassの全体像

C-compassを活用し、PDCAサイクルを継続的に回す



C-compass活用による効果

C-compassは、コンピテンシーの自己評価をベースに半年単位でPDCAサイクルを回すことを支援するためのシステムです。

C-compassを活用することで、入学時から卒業まで継続してこのサイクルに取組むことができます。また、コンピテンシーレベルの計画的な向上も図ることができます。

早い段階からC-compassを活用し、自身の評価を行い、強みを伸ばし、弱みを改善していく努力に日々取組むことで、社会で活躍できる力をしっかりと身につけていくことができます。

■PDCAサイクルとは?■

PDCAサイクルとはP(Plan:計画)→D (Do : 実行) → C (Check : 評価) → A (Action : 改善)の4つのステップを踏んで進めていくことで、物事を継続的に改善していく手法です。

そのサイクルは、個人のスキルアップ、能力アップにも活用することができます。また、Actionを次のPlanに結びつけ、サイクルを向上(スパイラルアップ)させていくことで、常に過去より高い目標を掲げて取組むことができます。

Plan

コンピテンシー目標設定と活動計画設定
コンピテンシーの各項目ごとに、半年後に到達したい目標のレベルを入力します。
また、コンピテンシーを向上させるための活動計画（プロジェクトや課外活動など）を入力します。

Check&Action

コンピテンシー自己評価 & 改善
半年間の活動を通じた自身のレベル変化を各項目ごとに入力できます。
半年前の目標や取組んだ活動のレビューを行い、改善点を抽出し、次期のコンピテンシー目標設定につなげます。

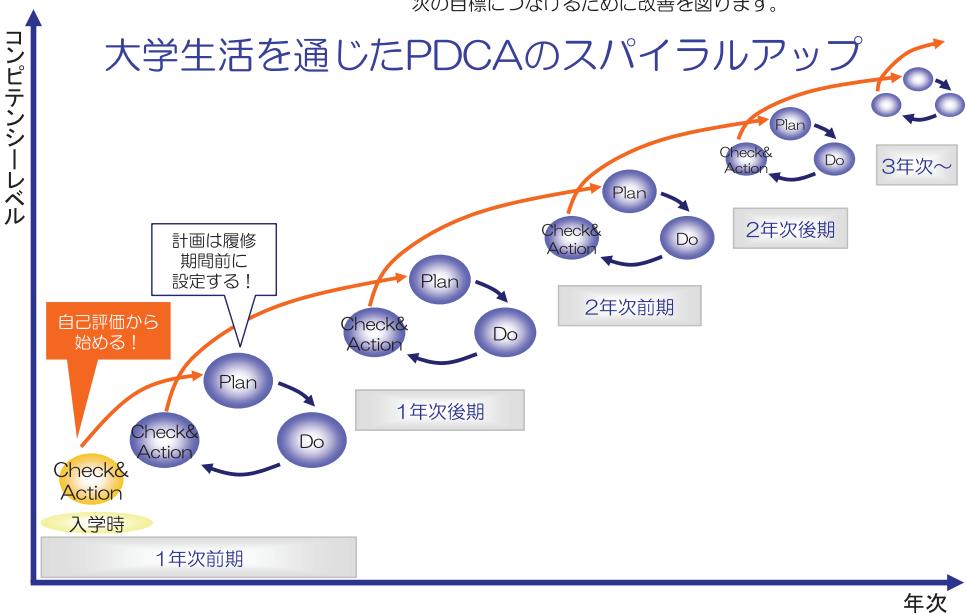
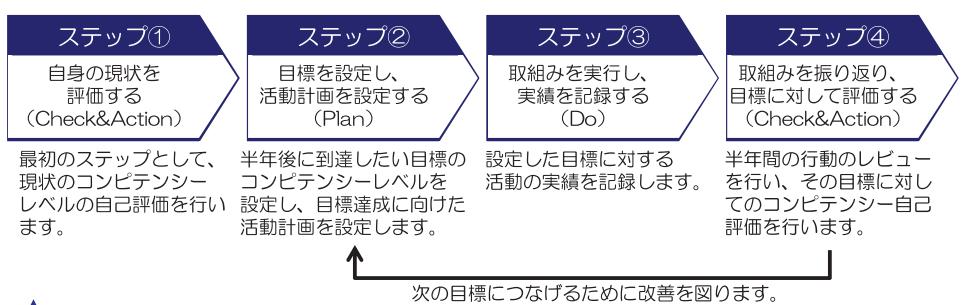
C-compass

Do

活動報告
半年間の活動内容を記録します。活動を記録することで、目標に対して充分な活動となっていたか、などの整理をおこないます。

C-compassの全体像

C-compassを利用してPDCAのスパイラルアップを図る



Chapter2

シーコンパス
C-compass・C-searchとテーマ別プロジェクト

C-compassの構成

C-compassを活用する②



C-compassで入力した内容の
レビューを行う

入力した内容を、以下のような画面で確認することができます。

① コンピテンシー閲覧

入力したコンピテンシーの自己評価・指標・目標を入力期間ごとに一覧で確認することができます。

② GPA・自己評価平均推移グラフ

GPAや入力したコンピテンシーの自己評価(平均値)の推移をグラフ表示で確認することができます。

③ コンピテンシー比較グラフ

入力したコンピテンシーの自己評価・指標・目標をレーダーチャートで確認することができます。

④ 活動計画・実績

活動の計画及び実績を、対比形式に入力期間ごとに一覧で確認することができます。

⑤ TOEIC・TOEFL等推移グラフ

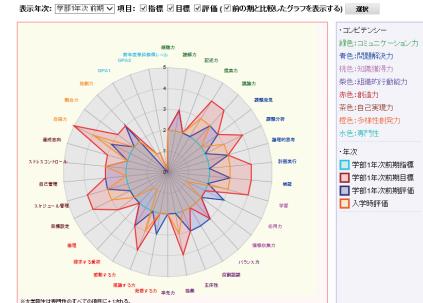
TOEIC・TOEFL等、大学で受検したり、自ら受検した語学力試験の点数を入力することができ(大学で一括入力されるケースもある)、その推移をグラフ表示で確認することができます。

【コンピテンシー比較グラフ画面】

コンピテンシー比較グラフ

13A2140000A

【表示する年次】学年(次右側) 【項目】□指標 □目標 □評価(△前の物は比較、△が表示する) 対比



【TOEIC・TOEFL等推移グラフ画面】

TOEIC・TOEFL等推移グラフ

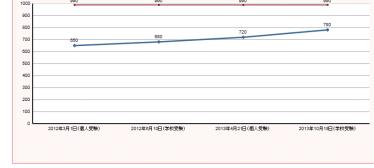
13D8100000A

【表示する年次】TOEIC・TOEFL点数の種類を選びます。表示するグラフの範囲を選択してください。

TOEIC

対象年次

対象年次: TOEIC(964), TOEIC-P(964), TOEIC-Speaking and Writing(116), TOEFL-BT(116), IELTS(16)



Chapter2

シーコンパス
C-compass・C-searchとテーマ別プロジェクト

コンピテンシーとテーマ別プロジェクト

プロジェクト（正課及び課外）とC-searchを活用する



テーマ別プロジェクトとは

中央大学では、社会で求められる「知性」と「行動特性」を高める取組みとして、特定のテーマごとに大学での授業科目や課外行事をグループ化した「プロジェクト」を設定しています。現在16テーマ140以上の取組みを設定しています。例えば、「インターンシッププロジェクト」では、各学部の授業科目である取組みや、課外行事として設置している取組みなど、21の取組みを設置しています。

プロジェクト一覧

学部教育プロジェクト
(法學部)

グローバルプロジェクト

学部教育プロジェクト
(経済学部)

グローバルプロジェクト
(留学生対象)

学部教育プロジェクト
(商学部)

キャリア教育プロジェクト

学部教育プロジェクト
(理工学部)

インターンシッププロジェクト

学部教育プロジェクト
(文学部)

社会・地域貢献プロジェクト

学部教育プロジェクト
(総合政策学部)

職業養成プロジェクト
(公務員)

大学院教育プロジェクト

職業養成プロジェクト
(教員)

FLPプロジェクト

その他



プロジェクトを活用してコンピテンシーを高める

プロジェクトはコンピテンシーと結びつけており、コンピテンシーを向上するための取組みとして、役立てることができます。

各プロジェクトの取組みについては、「取組みを行い、○○という行動ができるよう成長すれば（○○を体得すれば）、△△というコンピテンシーがレベル□に向上したといえる」というように、コンピテンシー項目と結びつけた設定をしています。

例えば、コンピテンシーのうち、「傾聴力」を高めたいという目標を設定した場合、「傾聴力」に結びついた取組みを選択し、該当する授業や課外行事に取組むことで、コンピテンシーを向上させることができます。

またC-compassでは、設定したコンピテンシー目標を目指すための、「お勧めプロジェクト」が提示されます。高めたいコンピテンシーと、取組み内容などを比較しながら、ぜひ有効に活用してください。



コンピテンシーをベースとした プロジェクト検索システム「C-search」

中央大学のHPでは、コンピテンシーをベースとして、自分が伸ばしたいコンピテンシーと関連したプロジェクトを検索できるシステム「C-search」を設けています。向上させたいコンピテンシー・求めるレベル・所属学部・学年等をキーワードに検索すると、取組むべきプロジェクトを検出することができます。

Chapter2

シーコンパス
C-compass • C-searchとテーマ別プロジェクト

コンピテンシーとテーマ別プロジェクト

C-searchでプロジェクトを検索してみよう

[検索ページ] 中央大学HP > 大学紹介 > 特色ある教育 > 「知性 × 行動特性」学修プログラム > C-search(プロジェクト検索システム)

The diagram illustrates the search process. It starts with the search interface, which has a highlighted search form. A callout box says "検索したい条件を入力" (Input the search conditions you want). An arrow points from the search form to the results page. The results page shows a list of projects, with one item circled in red. A callout box on the results page says "検索結果". A large blue arrow points from the results page to a detailed project description on the right. The project description is titled "■総合講座(起業家入門2)". It includes sections for "取組の説明", "目標水準の達成基準", "達成基準", "■配当/対象年次: 1年次 2年次 3年次 4年次", "■対象学部: 法学部 経済学部 商学部 工理学部 文学部 総合政策学部", and "対象学生". Below this is a table showing achievement levels (Level 1 to Level 4) across various competencies. A callout box on the table says "目指すレベル" (Target level).

検索したい
条件を入力

検索結果

■総合講座(起業家入門2)

■目標水準の達成基準:

■配当/対象年次: 1年次 2年次 3年次 4年次

■対象学部: 法学部 経済学部 商学部 工理学部 文学部 総合政策学部

○: 主となるコンピテンシー、○: 関連するコンピテンシー

取得を目指す コンピテンシー	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
論理力	○			
問題発見	○			
応用力	○			
主体性			○	
実験する力	○			
運動する力	○			
探求する意欲		○		
倫理	○			
達成志向			○	